オピニオン

卓見異見

「普通のこととして」

駿河台大学学長　成田　憲彦

前官房長官の至言

衆院「3分の2」で可決

インド洋での海上自衛隊による給油活動の継続の是非が、今国会の最大の焦点になっている。

政治問題化の背景は、参議院で野党が多数を占めるねじれ国会になっていることである。89年の参議院選挙以降もねじれ国会だったが、このときは自民党が政策ごとに野党の一部とのパーシャル連合で法案を成立させた。

しかし今回は初めて自民党以外の政党が議長を握り、参議院の主導権は完全に野党、とりわけ給油活動の継続反対を譲らない第一党の民主党の手に渡っている。

衆議院と参議院の意思が異なったときの調整方法は、憲法に規定がある。首相の指名と予算、条約承認は最終的には衆議院の意思で決まり、一般の法案は両院協議会で調整するか、衆議院が3分の2の多数で衆議院案を再可決して成立させることができる。

私は必ずしも給油活動の継続に与するものではないが、しかしもし政府与党がどうしても法案を成立させたければ、現在は衆議院で3分の2をもっているのだから、衆議院で再可決すればよいのである。

この点に関して、与謝野馨前官房長官は、9月10日の記者会見で、衆議院の再可決について定めた憲法の規定に関して、「日常的に衆参の意思が分かれた場合は普通のこととして使って良い」と述べたと報じられている。「普通のこととして」というのは、在任期間は短かったが、1日2回の官房長官記者会見で含蓄ある問答を多く残した与謝野氏の至言のひとつと言ってよいだろう。

しかし現実には3分の2の使用は、与党内にも慎重論があり、福田内閣では実現の可能性は低くそうだ。慎重論のひとつは、参議院軽視になるからだという。

細川内閣で、政治改革関連法案が衆議院を通過した後、参議院で自民党の抵抗により会期内成立が難しくなったとき、憲法の規定による60日間のみなし否決の規定（参議院が法案受領後60日以内に議決しないときは、衆議院は参議院が法案を否決したものとみなして、両院協議会を提起したり3分の2の再可決を行うことができる）を利用するために会期の越年延長を行った。会期延長の後、そのお礼に細川総理は秘書官の私を伴って参議院議長公邸に原議長を訪ねた。このとき原議長は、この日の朝刊に載っていた憲法規定の発動という連立与党側の秘策に懸念を表明された。事前の振り付けはなかったが、細川総理は穏やかにしかしきっぱりと「憲法の規定でございますから」と答えた。

参議院は憲法によって作られたのに、憲法の規定を持ち出すことが参議院軽視になるという議論がまかり通るのは、私には不思議でならない。

3分の2の発動に慎重なもうひとつの議論は、参議院で野党に福田内閣問責決議案を可決され、下手をすると解散総選挙に追い込まれるからだという。

問責決議案を可決されれば、総理以下参議院に行けなくなり、政府法案の審議ができなくなるというのがその理由だが、しかしこの議論は正しくない。憲法63条は、総理や国務大臣がいつでも議案について発言するために議院に出席できる権利を定めている。憲法に根拠のない問責決議で、この憲法上の権利を封じることはできない。

政府の立場では、本当はどうすればよかったのか。安倍前総理は、給油活動の継続に政権の命運をかける旨の発言を行ったが、それだけの覚悟があれば、参議院選挙後の8月7日に召集した臨時国会を4日間で閉じたりせずに、テロ対策特別措置法の延長法案を提出して、審議を始めればよかったのである。

参議院が否決すれば直ちに3分の2を使い、もし参議院が法案をたなざらしにすれば、前述の60日間の「みなし否決」の規定により、同様に再可決で成立させればよかったのである。これだけ大騒ぎすることが見えていたのに、なぜそれだけの準備ができなかったかと思う。

それにしても衆参の対立は今後どうなるのか。確かなことは、いずれやらざるを得ない解散総選挙で民意を確認しなければ、その後のことは決まらないということだ。そのうえで、民意に従って、多少の紆余曲折があっても、いずれ新たな「均衡」が成立するだろうと考えている。

（次回は長島徹氏です）

主張

NPOの時代

新モノづくりの価値創造

国の垣根越え広がり

国際科学振興財団会長　大竹　美喜

おおたけ・よしき　35歳でアフラック日本社を設立。社長、会長を経て03年より最高顧問。02年国際科学振興財団会長に就任。広島県出身、68歳。

今、民間非営利団体（NPO）の時代が来ていると思う。官は小さくなり民が大きくなる過程にある。官と民の間に立つNPOが社会の中でリーダー的な役割が求められている。

NPOは官でも民でもない「公」を担う。私はNPO法人「ものづくり生命文明機構」の副理事長を務めている。その名の通り、生命や文明の観点から新しいモノづくりの価値を創造しようというNPOだ。企業や研究機関、官公庁など組織の枠を超えた人が集い、お互いの知恵を出し合い協力することで、経済と環境を両立する持続型社会の構築を目指している。また、地域の活性化や中小企業の振興も視野に入れている。

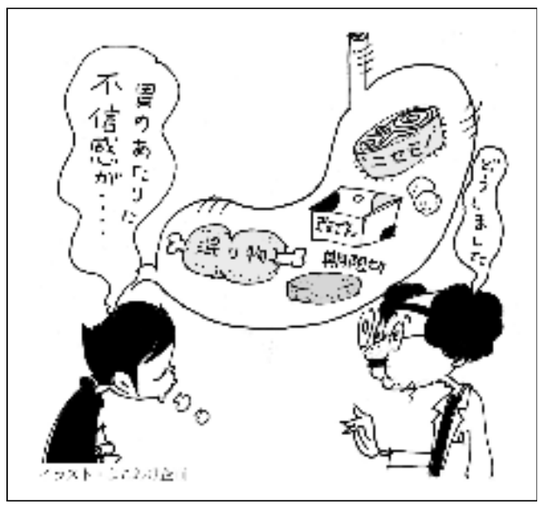
日本の国内にはあらゆるジャンルの優れた人がいる。ところがそれをつなぐ横断的な交わりがない。交わりがあったら新しい価値を創造できるのではないか。例えば、宗教や哲学を修めた人と遺伝子の専門家では一見、議論がかみ合わないと思う。しかし、宗教や哲学、日本人のルーツをたどっていくと遺伝子との関係が生まれてくるかもしれない。実際、私の知り合いがその因果関係について研究している。

同じバックボーンの専門家が同じ研究を進めても大きな進化にはならない。私の専門である生命保険業界の枠で生命保険業界を考えたら現状維持的な発想で終わってしまう。でも、異分野の専門家が一緒になればすさまじいものが生まれてくる。脱生命保険という発想であれば、新たな発見、面白い成果が得られ、新しい市場を創造できる。

NPOは単に利益を追求するわけではないので官も民も参加しやすいはずだ。こうしたネットワークの広がりや融合がもたらす成果が、日本の50年後、100年後の設計図や道しるべとなる。日本だけにとどまらず、アジアにまで展開すれば東洋文明という切り口で一緒になる。国の垣根がより低くなり、人と人、地域と地域の結びつきがより一層強まってくるのではないか。そのとき、日本人だけではつくれないものが、アジアの人と日本人が交わったときに生まれてくるだろう。

また、日本は優れた科学技術の歴史を有している。人類最古の焼き物は縄文時代に日本で生まれたという。すばらしいものがたくさんあり、それが現在のモノづくりに生かされている。こうしたことは一般に知られておらず、残念ながら縄文時代から今日まで日本の科学技術の発展の歴史をまとめたものがない。

NPOではこうした日本の科学技術の流れを教科書の形にして発行していきたい。各国の言語に翻訳して世界に発信していく。日本人にはそういう遺伝子、DNAがあることを一般に知らせることで、改めて日本の良さを見直すのではないか。



先人に学ぶ　財界温故知新

五島昇（上）

御曹司も人知れぬ苦労・挫折味わう

五島昇（1916～1989年、72歳）**東京急行電鉄社長・会長、日本商工会議所会頭**

2代目ながら東急グループの総帥として大東急王国を育て上げ、さらに全国120万商工業者を率いる日本商工会議所の会頭を務め、重厚長大型産業優位の財界に、サービス産業時代への変革をもたらす新風を吹き込んだ。

〝財界の団十郎〟と呼ばれ、大きな耳と愛敬のある大きな目。しゃべる言葉は短く、一見ぶっきらぼうに聞こえるが、洒脱で本質を見据えた的確な言動は際立っていた。男ぶりと気風の良さで、人の輪が広がる華やかな存在であった。

五島昇は1916年（大正5年）8月21日、慶太、万千代の長男として生まれる。長野県青木村出身の五島慶太（旧姓小林）は県立松本中学から東京高等師範へ。東京帝国大学法学部を卒業して、農商務省、鉄道院と約9年間役人生活を送る。退官した慶太は明治の大実業家渋沢栄一翁と私鉄王小林一三の勧めで電鉄業界に。

実業界に転身した慶太は〝事業の鬼〟といわれ一代で東急コンツェルンを築く。また白木屋、東洋精糖など100社余りの企業を次々と買収、合併し、世間から〝強盗慶太〟と恐れられたが、戦時中には東條英機内閣で運輸相も務めた。

西武鉄道の創始者で〝ピストル堤〟と呼ばれた堤康次郎（元衆院議長）は好敵手で、箱根・伊豆半島や軽井沢の開発事業を巡る両者の激突は「箱根戦争」「軽井沢の陣」と騒がれた。

こうした環境で育った昇は、典型的な御曹司経営者に見えるが、幼少期の家庭事情や父親との相克から、人知れぬ苦労や挫折、屈折感を味わう。

昇が5歳の時、女子学習院での母がスペイン風邪で亡くなり、事業に没頭する父も家庭を顧みなかったため、家庭の温もりを知らず、孤独感を募らせて育った。

学習院初等科から中等部、高等部を経て、東大に進む。学生時代は心の空白を埋めるようにスポーツに熱中する。野球、テニス、ゴルフ、スキー、ラグビーの万能選手として鳴らし、東大では一年生で正捕手、3割4分を打つ強打者として神宮で活躍、後にゴルフ部に移り主将で優勝に貢献する。

本人も「東大では野球部に入学し、ゴルフ部を卒業したんだ」と述懐する。

40年（昭和15年）東京帝国大学経済学部を24歳で卒業するが、「オレは絶対に親爺の後は継がない。家督は弟（進）に任せる」と父との決別宣言をした上で、東芝に就職する。

（敬称略）

（客員論説委員　松本明男）

ブランド経営時評

ブランドのダッシュボード

首藤　明敏

車のダッシュボードには、時速計、加速度計、燃料計など、様々な計器が見やすく収められている。このような計器を確認することで、安全かつ確実に車を運転することができる。

同様に、ブランディングの実効性を評価し対策を打つ上で、判断の材料となる情報は、数値化されていなければならない。さらに、数値化された情報と目標値をセットにすることで、達成度合いを見ることができる。

近年、ブランドの財務資産評価が話題になり、ブランディングの成果指標として、金額評価をそのまま導入しようとすることがある。

しかしながら、財務資産評価には様々な変数が絡むため、ブランディングの成果を年次ごとに見るにはあまり適さない。車を売ったら査定価格がいくらになるかといったこと、車を目的地まで運転する上での判断材料とはあまり関係ない。

むしろ、自社のブランド戦略に即した複数の成果指標を判断材料にした方が実践的だ。具体的には、新規顧客獲得数や値引き率等のマーケティング成果指標、選好性やプレミアム等のブランド力指標、商品やサービス等の顧客接点指標が挙げられる。さらに、企業ブランドの場合は、社員、採用希望者、株主などの評価指標も見ていく必要がある。

いずれにしても、経営陣やブランドマネジャーにとって、見るべき情報が比較的固定化され、複雑な操作を必要とせずに、できるだけ簡単に時系列情報が取得できるモニタリングの仕組みが必要である。ブランディングの実効性を高め、成果と対策を明確にする上で、ブランドのダッシュボードの整備は欠かせない。

（博報堂ブランドコンサルティング社長）

《現代の名工》が幸せを願い華麗に彫金

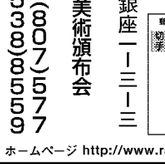
■古より知恵と幸運のシンボルとして尊ばれるふくろう。古代ギリシャでは「森の賢者」と呼ばれ、日本では不苦労、福来路とも記される神秘の鳥です。その愛らしい姿を貴重な銀と、眩い天然ブラウンダイヤモンドを用い、華麗に彫金した根付が完成しました。

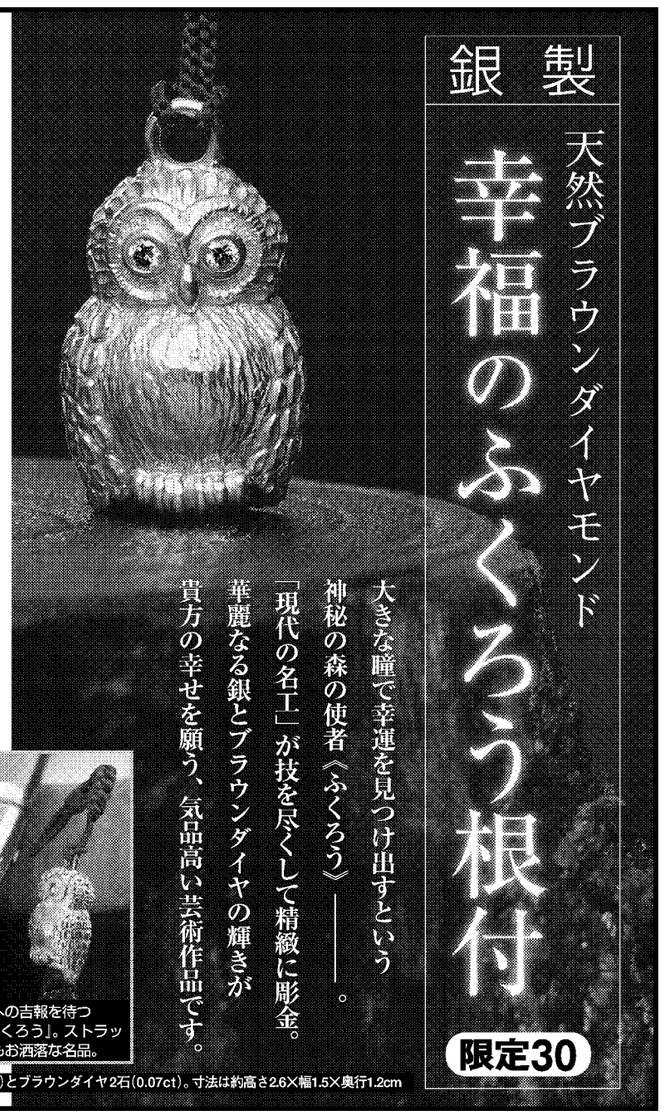
■大きいつぶらな瞳に輝くのはなんと、温かみある色彩から「コニャックダイヤ」と称賛される、天然ブラウンダイヤ2粒。きめ細かな煌めきが上品な銀に映え、思わず目を奪われる美しさです。

■作者は国から《現代の名工》に認定される名匠・坂元亜郎氏。江戸彫金の伝統を今に守り、皇室御用品も手掛ける第一人者です。思慮深い顔の表情、鋭い爪、羽の一枚一枚に至るまで実に精緻。柔らかそうな翼のふくらみは、今にも動き出しそうです。わずか数cmながら、幸福を願う瑞鳥を技を尽くして繊細に彫り上げた彫金芸術の逸品。男女を問わずご愛用いただける、一味違ったお洒落なジュエリーです。

■紺色の正絹組紐を無料進呈。桐箱入り。限定30。

くりっとした両目に輝くのは稀少な天然ブラウンダイヤ2粒


桐箱に納めてお届け


銀製
天然ブラウンダイヤモンド
幸福のふくろう根付
大きな瞳で幸運を見つけ出すという
神秘の森の使者《ふくろう》――。
「現代の名工」が技を尽くして精緻に彫金。
華麗なる銀とブラウンダイヤの輝きが
貴方の幸せを願う、気品高い芸術作品です。
限定30

携帯電話への吉報を待つ『幸福のふくろう』。ストラップとしてもお洒落な名品。

素材は銀(8g)とブラウンダイヤ2石(0.07ct)。寸法は約高さ2.6×幅1.5×奥行1.2cm

■頒布価格（税込）（実質年率11・30%）
『銀製ふくろう根付』
月々　一三、五五二円×3回
一括　三九、九〇〇円

■お申込み方法
ハガキか電話またはFAXでお申し込みください。
お届けは約1ヵ月後。送料は弊社が負担。支払は現品到着後10日以内。現品到着後8日以内なら瑕疵なき限り、送料自己負担でご返品可。

送料無料

郵便はがき　〒104・8231　東京都中央区銀座一―三―三　東京書芸館
①「銀製ふくろう根付」②〒・住所③氏名（フリガナ）④生年月日⑤電話番号⑥支払方法（一括／分割）⑦日刊工業係

素材と文化の殿堂――88年の伝統
東京書芸館　美術頒布会
〒104・8231　東京都中央区銀座一―三―三
フリーダイヤル 0120(807)577
FAX24時間受付 03(3538)8559
ホームページ http://www.rakuten.co.jp/shogeikan/

天然水晶と守護神の力を一つにした大吉祥の宝珠

天然水晶　守護宝珠　四神相応　4点1組　限定20

■ご尊家のより良き家相を祈り、除災招福を願う古来の知恵……それが「四神相応」です。本作品は邪気を祓うという開運石の天然水晶に、ご加護の力あふれる青龍、白虎、朱雀、玄武の四神を合わせた大吉祥の宝珠。中国民間芸術博覧会賞に輝く、宝石彫刻界の偉才・李春華氏が一点一点、精緻かつ活き活きと総手彫り。霊威ある四神と天然水晶の輝きが貴家の東西南北を護り、家運隆盛を祈願する貴重な宝石芸術の傑作です。限定20組。

■頒布価格（税込）（実質年率11・30%）
天然水晶『守護宝珠　四神相応』
月々　五、六四七円×12回
一括　六三、〇〇〇円

■お申込み方法
ハガキか電話またはFAXでお申し込みください。
お届けは約1ヵ月後。送料は弊社が負担。支払は現品到着後10日以内。現品到着後8日以内なら瑕疵なき限り、送料自己負担でご返品可。

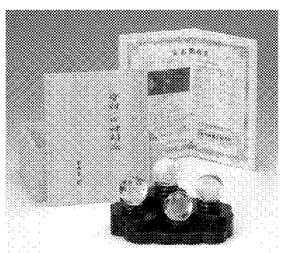
送料無料

郵便はがき　〒104・8231　東京都中央区銀座一―三―三　東京書芸館
①「守護宝珠　四神相応」②〒・住所③氏名（フリガナ）④生年月日⑤電話番号⑥支払方法（一括／分割）⑦日刊工業倶

素材と文化の殿堂――88年の伝統
東京書芸館　美術頒布会
〒104・8231　東京都中央区銀座一―三―三
フリーダイヤル 0120(807)577
FAX24時間受付 03(3538)8559
ホームページ http://www.rakuten.co.jp/shogeikan/

華麗なる天然石ブレスレットを無料進呈!!

「四神相応」をお求めの方に限り特別に、天然水晶と虎目石、赤メノウ、青メノウ、ブラックオニキスが色鮮やかな天然石ブレスレット2点組を無料進呈。これは見逃せません!!



格調ある木製飾り台および木製台座4客つき。天然水晶製を証する鑑定書つき。桐箱入り。水晶宝珠の直径は約40mm。飾り台を含む重さは約1kg